

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) I.Y
所属 (School) 工学域 物質化学系学類
学年 (Grade) 3

留学先 (Name of overseas institutio)
モナシュ大学

留学期間 (study abroad period)
2020/8/10~2020/8/28

留学レポート Study Abroad Report

私がこのオンラインプログラムに参加しようと思ったのには、昨今、海外に行くことができず、ネイティブから英語を学ぶ機会が少なくなっているからです。そんな中で、オーストラリアからリモートで授業が受けられるというのは、とても魅力的でした。

ここでは、プログラムに参加するにあたり、大変だったことを語りたいと思います。それは、実際にモナシュ大学のプログラムへの参加が正式に決まり、接続方法などの設定をしていた時のことです。指定されたアプリとマイページとの接続がうまくいかず、さらには機械の不具合でアプリを消去されてしまったので、アプリを再インストールしましたが、私の情報をアプリに再度登録するためには、大学に電話する必要がありました。大学に電話をすると、サービスデスクの方が電話口にでられ、英語での対応を求められました。技術的な英単語に四苦八苦しつつ、最終的には、日本人スタッフの助けも借りながらなんとか再登録をすることができました。初めて、電話で英語でトラブルを説明するという体験は、とても難しく大変な体験でした。今回は、日本人の方に助けていただき、大変感謝しています。しかし、今後は、トラブルの際にも、英語で自分一人で解決する力を身に着けないといけなく強く感じました。接続等の設定を求められるのは、オンライン特有であると思います。こんな風なトラブルを経験し、英語力をもっと磨こうと思えたの

も、オンラインという環境だったからかもしれません。

プログラムでは、日常的な会話表現は、もちろんのこと、ビジネスシーンでも使うことのできる会話表現を学ぶことができました。誘いを断る方法や、文化の差異から起こるであろう誤解まで、実際の様々なシーンで、私たちが困るであろう表現について、学習することができました。プログラムの時間では、zoomのブレイクアウトルームを用いて、少人数で話をする機会を多くとっていただきました。英語で話し、また他人の意見を聞くという経験をたくさんすることができました。

また、プログラム期間中の放課後もとても思い出に残っています。プログラムには、日本人と韓国人がいたのですが、有志で、放課後にも zoom をして、フリートークをしていました。そこでは、日本の観光地を紹介したり、韓国語を教えてもらうなどをして、とても楽しく交流できたのを覚えています。当初はオンラインでどこまで、クラスメイトと仲良くなれるか不安でしたが、プログラム終了がするころには、毎日会えなくなるのがとても寂しく感じるようになっていました。直接会えなくても、仲良くなろうという意思があれば、よりよい交流ができるのがと感ずることができました。

今回はオンラインといういつもとは違う留学の形式でしたが、英語力の向上と世界に友達を作るという貴重な体験をすることができました。今後はさらに英語力を向上させ、もっと世界中の人々とたくさんのお話を会話ができるようになりたいです。